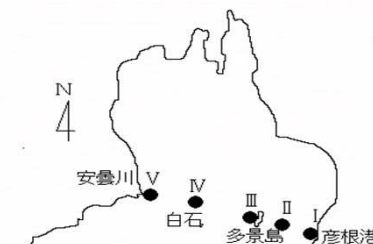


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和6年6月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和6年6月10日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

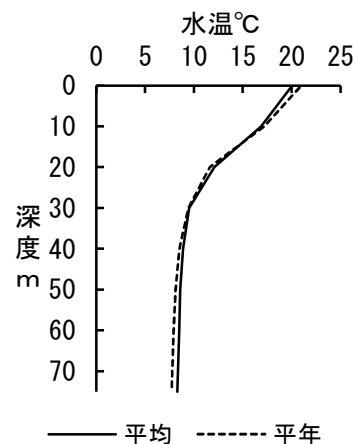
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2014年～2023年(平成26年～令和5年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 6月平均値 4.5m 平年値 5.8m

2. 湖水温 (°C)

深度(m)	6月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	19.9	20.8	-0.9
10	16.9	17.2	-0.3
20	12.1	11.6	+0.5
30	9.5	9.4	+0.1
40	8.9	8.5	+0.4
50	8.6	8.1	+0.5
60	8.5	7.9	+0.6
75	8.3	7.7	+0.6



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
5月下旬	18.2	17.3	+0.9
6月上旬	19.5	19.1	+0.4
6月中旬	22.7	20.6	+2.1

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	6月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	50.3	16.4	+33.9
10~20	13.8	6.0	+7.8
20~40	2.6	2.2	+0.4
40~75	1.3	0.8	+0.5

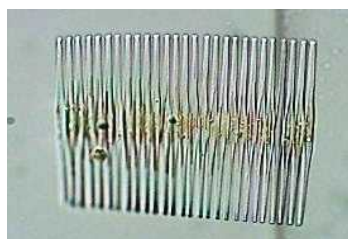
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、両地点とも細胞数では*Fragilaria crotonensis*(オビケイソウ:珪藻)が、量的には*Micrasterias hardyi*(ミクラステリアス:緑藻)が最も多く認められた。

動物プランクトンについては、地点IとVでは*Ploesoma* sp.(スジワムシ)が、それら以外の3地点ではカイアシ類のノープリウス期幼生が個体数で最も多く認められた。



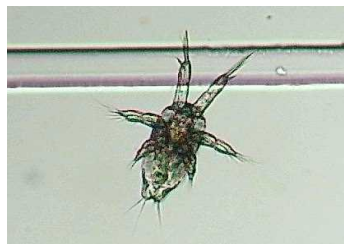
Fragilaria crotonensis



Micrasterias hardyi



Ploesoma sp.



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	6月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	10.7	117.5	10.1	113.8	0.6	(+3.7)
10	10.7	111.8	10.5	111.5	0.2	(+0.3)
20	9.8	90.8	10.0	93.5	-0.2	(-2.7)
30	10.1	88.0	10.1	89.2	0.0	(-1.2)
75	8.7	74.3	8.1	68.6	0.6	(+5.7)